

21.皮膚科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 指導責任者：塩入有子（皮膚科部長）

2. 期間：4～8週間、(2年目選択)

3. 目標

【一般目標 GIO】

将来どの専門に進んでも日常の臨床に役立つ皮疹の基本的な見方、疾患と治療についての論理的、系統的な考え方、およびステロイド外用剤の使い方の基本的考え方を習得する。

【個別目標 SBOs】

- 1) 皮膚科疾患における問診のポイントを述べることができる。
- 2) 真菌検査の手技、判定ができる。
- 3) 処置の際、清潔、不潔の区別が適切にできる。
- 4) 掻痒を伴う疾患の中で、蕁麻疹とそれ以外の疾患の鑑別が的確にできる。

短い期間中ですが、厚生労働省の要求する皮膚科的経験目標（別添マトリックス表参照）はもちろんのこと、積極的に経験症例種類と経験できる手技に触れてください。

経験症例

白癬症・カンジタ症など真菌症、アトピー性皮膚炎をはじめとした湿疹・皮膚炎群、帯状疱疹、単純疱疹、座そう、蜂窩織炎、毛囊炎、熱傷、

手技

処置の際の清潔操作、真菌検査、生検

4. 方略 LS

LS1：OJT(診療)

- 1) 外来は上級医の診察の見学を行い、問診の取り方、診断へのアプローチ、治療を学ぶとともに処置の介助につき、処置の実践をする。慢性疾患における治療、生活指導も学ぶ。
- 2) 他科入院患者の対診では、上級医の指導のもとで、自ら問診をとり、診断、治療の選択を主体的におこなうことで、外来診察の経験をする。
- 3) 皮膚科入院患者を上級医とともに担当し、治療方針の決定、処方、処置を行う。

LS2(勉強会・カンファレンス)

勉強会(教育)：症例検討は日々、問題症例に対しては行う。月2回の皮膚科スタッフ全員によるカンファレンス、2月1回は周辺5施設中心の症例検討会に出席することで、自身が体験できなかった症例の勉強をする。

【週間スケジュール】

月曜から土曜まで、以下のスケジュール

午前；外来見学

午後；対診、皮膚科入院患者の診察・処置・問題症例の検討

上級医師が、手術や特殊処置（ピーリングなど）などの予約を入れている場合はそれを介助、見学する。

5. 評価 EV

入院患者のカルテ記載は日々、確認する。

他科入院患者の対診の際、主体となって診療を行って頂くが、最終週では、問診の取り方、診断・鑑別診断、治療、患者への説明がどの程度できているか評価する。

その他、必要に応じて、関わった疾患に対して課題を与えてレポート提出させる。